

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH11	科名	バッグデザイン科	1年	単 位	15 単位
科目コード	302210	科目名	バッグ I		授業期間	通 年

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・マチの種類を理解した上でのバッグのデザイン、そのデザインに合わせた立体の作り方、型紙の作り方、縫製方法を習得する。
- ・皮革用ミシン、革漉き機の操作方法を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

バッグ デザイン I	4 単位	302210
バッグ パターンメイキング I	4 単位	302310
バッグ 制作実技 I	7 単位	302410

1. 道具、機材の使用方法、曲げマチバッグ制作
37コマ デザイン・パターン・制作実技
2. 横まち基本型
16コマ 制作実技
3. 通しまち基本型
16コマ 制作実技
4. ソフト応用デザイン
30コマ デザイン・パターン・制作実技
5. スワローまち基本型
16コマ 制作実技
6. スワローまち応用デザイン
30コマ デザイン・パターン・制作実技
7. 外縫い横まち基本型
20コマ 制作実技
8. 外縫い帯まち基本型
20コマ 制作実技
9. // 応用デザイン
30コマ デザイン・パターン・制作実技

【評価方法】 S～C・F評価

デザイン 学業評価80% (提出物50、試験30)	授業姿勢20%
パターンメイキング	.. 学業評価80% (提出物30、試験50)	授業姿勢20%
制作実技 学業評価80% (提出物のみ、試験なし)	授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション工芸講座③ バッグ

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】様々な作りの「基本型」のバッグを制作後、「応用」として基本の技術を活かした自由なデザインのバッグを制作する。

【教員紹介】文化服装学院ファッション工芸科卒業。バッグ卸企業にてバッグデザイナーの仕事を約6年経験し教員となる。

記載者氏名 青木克江

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科 1年	単 位	1単位
科目コード 302510	科目名 バッグハンドワーク I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 荒関 史伸	共同担当者 :
------------------	---------

概要
手縫いの基本をマスターし、「財布」が作れるレベルにもっていく。

コマ	内 容
1 ～ 2	手縫いの基本的な技法 (2コマ) 講義・実習 ・道具の説明 ・平縫い練習 ・磨きの練習
3 ～ 10	二つ折り財布 (8コマ) 講義・実習 ・実物サンプルによるパーツの説明 ・パターン作成、裁断 ・縫製準備 (革すき・床面の処理・組み立て前コバ磨き・電気ネン入れ) ・縫製 (小銭入れ部分の組み立て・札入れ部分組み立て・カード入れ部分の組み立て) ・まとめ縫製 (各パーツのまとめ) ・仕上げ・完成 (コバ磨き、ホック付け)
11 ～ 12	菱切りの研ぎ方について (2コマ) ・菱切りの研ぎ方の説明
13 ～ 14	手縫い技法の復習と装飾の手縫い (2コマ) ・装飾の手縫い、駒合わせ縫い、挿み合わせ縫いの説明 ・装飾の手縫いの縫製練習 (チェーンステッチ等)

評価方法・対象・比重
S～C・F評価 評価基準 : 学業評価50%、授業姿勢50%

主要教材図書	文化ファッション工芸講座③バッグ
参考図書	なし
その他資料	文化ファッション講座工芸②手芸

授業の特徴と担当教員紹介
実際にモノを作りながら技術を習得していきます。担当教員は文化服装学院卒、現役のバッグ職人です。

記載者氏名 荒関 史伸

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH11	科名	バッグデザイン科 1年	単位	1単位
科目コード	302100	科目名	バッグデザイン論	授業期間	通年

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

バッグのデザインの方法、考え方を講義、演習を通して学ぶ
仕事としての商品企画（デザイナーの仕事）について理解し、商品企画力を身に付ける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- バッグ業界の業種と職種、企画の仕事内容を理解する【2コマ】
バッグ業界の流れについて
作品と商品の違いについて、
- 商品としてのバッグデザインについての基礎知識の習得 型バリエーションの付け方【2コマ】
- 商品デザイン演習（グループワーク）【5コマ】
規制の中でデザイン提案する力をつける
グループで企画することを経験する
- 商品デザイン演習（個人）【5コマ】
企業デザイナーの仕事内容を理解する
デザイン力を身に付ける
指定ブランドのバッグを2シリーズ×3型企画し、発表する
- 展示会见学 【1コマ】
バッグ企業の展示会を見学（校外授業）

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】バッグをデザインする時の考え方、商品デザインについて講義・演習で学ぶ。

【教員紹介】文化服装学院ファッションエ芸科卒業。バッグ卸企業にてバッグデザイナーの仕事を約6年経験し教員となる。

記載者氏名 青木克江

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単 位	2 単位
科目コード 950000	科目名 自由研究	授業期間	通 年

担当教員(代表) : 青木克江	共同担当者 :
--------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各課題や個人の自由実習。
通常授業以外の制作や、コンテスト参加、美術館見学などによる、各個人のレベルアップ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、各種コンテスト参加
革コン、ザッカコンペティション、学内コンテストなど。
- 2、美術館、博物館見学
見学、感想レポート提出。
- 3、ブランド研究
長期休暇時の課題として、各自好きなブランドの企業について調べ、研究し、レポート提出。
- 4、バザー作品制作(本年度文化祭バザー中止のため、無し)
文化祭バザー作品のグループ制作。

【評価方法】

履修認定(P表示) 評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】通常授業以外の制作や活動

記載者氏名 青木克江

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単 位	2 単位
科目コード 001500	科目名 服飾造形	授業期間	通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要

服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。

衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッション衣料としてのテキスタイルに関連させ指導する。

衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツブラウスの基礎知識・縫製

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

前期2単位
(前期) 26コマ

- ・ 服飾造形の基礎 1コマ
 - 服飾造形概説
 - 採寸
 - 文化式婦人原型
- ・ シャツ・ブラウス 25コマ
 - 一般知識
 - 作品制作
 - レポート提出
 - プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績（授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価）など
授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書
文化ファッション大系 服飾関連講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」を中心としたプリント

参考図書

その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介
・アパレルに特化した衣服製作 ・文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 杉山 美和

2020年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
- ・ファンシーブリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習(1)
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかかりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
- ・イタリアンスモッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重
 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単 位	2単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	通年

担当教員：柳澤 利光

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを他者に伝える為の基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を学び、それらの大切さを理解する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な幾何形態について学ぶ。
画材等の使い方等の基本説明。
- 2～4、静物デッサンⅠ：帽子とシンプルモチーフを描く。造形・質感・空間の練習。
- 5～6、靴のデッサン：エナメルパンプスを描く。靴の基本造形と質感の習得。
- 7～9、パンのデッサン：丸いパンを描く。大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 10～13、石膏デッサン：頭部石膏像を描く。大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 14～15、バッグのデッサン：バックを描き基本造形と質感の習得。
- 16、金属のデッサン：真鍮リングを描く。楕円形と金属質感の描写を習得。
- 17～19、静物デッサンⅡ：鳥の剥製を描く。造形・質感・空間・細密と省略描写の習得。
- 20、小物を描く：様々な造形描写力の習得。
- 21～23、静物デッサンⅢ：複雑な造形のモチーフを組み合わせて描き、描写力を高める。
- 24～27、石膏デッサンⅡ：黒い布を頭部に巻いたミロのヴィーナス像を描く。
大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 28、まとめ：プリントによる、ポイントの復習。

評価方法・対象・比重：

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。
学期末に実技試験あり。

主要教材図書：なし

参考図書：なし

その他資料：授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介：

実際に手を動かして制作する中で、観察した造形の描写力を伸ばします。担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名：柳澤 利光

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単位	2
科目コード 500500	科目名 造形演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：北川 陽史

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対しての基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解釈、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

授業は造形作品の制作実習(主に平面上での表現)を中心に展開される。

各項目(テーマ)に対し前提講義を行い、造形理論と制作の方法論を解説する。

制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例を解説・アドバイスすることで、
学生個々の造形感覚の拡張を目指す。

- 1 概論 (講義) 造形を主体とした発想とその展開について視覚心理の見解(錯視)も含め解説(1コマ)
- 2 イメージ構成 イメージを形態と構成によって単純な造形として平画面に落とし込む。
画面内に「動感」を形成。モノクロ平面構成による構成力の育成(2コマ)
- 3 偶発性と造形要素抽出 様々な描画技法(デカルコマニー、フロッターージュ等)を用い、
偶発的に生まれる効果を画面構成の要素として採取し編集する。
ブックとして提出。各種画材、アクリル(黒のみ)と各種用紙(4コマ)
- 4 平面上での立体的表現 平面上における空間感覚の理解。
レリーフの作成、及び色彩表現。(5コマ)
- 5 光とその表現 物質と光の関係性を理解し、デザイン表現を行う。
「光」を多角的に捉え、表現する。平面構成等(3コマ)
- 7 手に馴染む形 抽象概念の理解と彫刻的技法の理解。
イメージ・感覚を抽象化された有機的な形で表現する。(4コマ)
- 6 表層のデザイン 触覚チャートの作成を行う。
素材の理解と、その表層に現れる質感の理解。(4コマ)
- 8 100枚ドローイング ドローイングから、自己分析、自己表現を行う。
無意識的に表現されたドローイングを客観的に解釈し、そこから表現を重ねていく。(3コマ)

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準：学業評価60%、授業姿勢40%

制作実習における成果物を評価基準の対象のひとつとする。基礎造形の理解度と表現性を評価の基準とし、

それに加え、独創性、独自の表現に通じる可能性の感じられるものを高く評価する。

制作実習時の姿勢は勿論、出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書

特になし

参考図書 Visual design(平面・色彩・立体構成)1(改訂新版)日本グラフィックデザイナー協会/六耀社

その他資料

特になし

授業の特徴と担当教員紹介

デザイン表現の基礎となる部分は、机上の知識や、言葉の上だけでの教訓から得られるものではなく、
自分自身が経験する事により、初めて感覚として意味を持つ。

基本的な感覚経験は、作業過程から得られ、発展するとともに知的な変化を遂げ、やがては他の経験と結び付く。
少しずつそれぞれが自分なりの経験を重ねて自己の表現形体を探し出す。

担当教員：北川陽史

武蔵野美術大学大学院造形研究科修了、芸術家、造形作家

記載者書名欄 北川 陽史

2020度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単位	1
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など
 ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 導入 色について		〈講義 1コマ〉
2. 色の三属性	色の三属性(色相・明度・彩度) 等色相面/色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 3コマ〉
3. 配色の基礎	色相を基準とした配色/トーンを基準とした配色	〈講義および演習 5コマ〉
4. 色彩心理	色彩の感情効果/連想/イメージ 色の見え 対比現象/同化現象 膨張性/進出性	〈講義および演習 4コマ〉
5. 色彩理論	光、眼と色 三原色と混色	〈講義 2コマ〉

評価方法・対象・比重
 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
 『ファッション色彩I』(文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介
 色の知識や実用的な活用術のコンサルタント経験をもとに、ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。演習を中心とする。
 天野豊久 東京造形大学造形学部美術学科卒 日本色彩学会会員

記載者書名欄 天野豊久

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単位	1単位
科目コード 200600	科目名 染色演習	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表)：伊藤 望	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。

さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論
・ 授業内容について
・ 主な染料の種類と特徴
・ 染料と繊維の染色適性
・ 染料と繊維の結合と染着過程 | (1コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛(羊毛)染色
・ 羊毛の性質
・ 酸性染料の特徴
・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | (1コマ) | (実習) |
| 3. 羊毛を使用したフェルト制作
・ 羊毛の縮絨性
・ 羊毛のフェルト制作方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 4. 型紙捺染
・ 型紙捺染の仕組み
・ 捺染の種類と版式
・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較
・ 特殊プリント加工
・ 図案構成と型紙制作
・ 印捺と仕上げ方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 5. スクリーンプリント
・ スクリーンプリントの仕組み
・ 量産プリントの版式と生産工程
・ 図案構成と製版
・ 印捺と仕上げ方法
・ スクリーンプリントと型紙捺染の比較 | (4コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 : 染色の基礎的な浸染法(無地染め)・捺染法(模様染め)の他に加工法も含め実習する

担当教員紹介: 伊藤 望; 女子美術大学、文化服装学院 卒業後、文化服装学院勤務 現在講師

記載者氏名 伊藤 望

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単位	1単位
科目コード 504010	科目名 グラフィックワーク I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- Photoshop の基本操作 : 講義・実習 4コマ
 - ①移動ツールの使い方
 - ②ブラシツールの使い方
 - ③レイヤーマスクを使った切り抜き
 - ④画像合成
- 画像合成・ファイル表紙のデザイン : 講義・実習 3コマ
 - ①画像の収集
 - ②切り抜き・画像合成
 - ③文字入力
- Illustrator 基本操作 : 講義・実習 3コマ
 - ①基本図形の描き方
 - ②色の設定方法
 - ③整列・画像の配置
 - ④クリッピングマスク
 - ⑤スウォッチ・ブラシ
- デザインマップの作成 : 講義・実習 4コマ
 - ①テーマの設定
 - ②画像の切り抜き
 - ③レイアウトデザイン

【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 使用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018

授業の特徴と担当教員紹介

講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルプリントデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広いPCスキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科 1年	単位	1単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	後期

担当教員(代表)：澤住 倫子	共同担当者： 澤谷 目童
----------------	--------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (2コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係
2. ファッションの範囲と流行の把握

II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)

1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類
2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷
現代のキーワード
3. 現代のファッションキーワード

III. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

V. まとめ (2コマ)

1. ファッション産業今後の課題
2. 最新ファッションキーワード

※すべて講義

評価方法・対象・比重

テキスト提出 30% 出席日数 70%

主要教材図書 ファッションビジネス概論用プリント

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションビジネスの基礎知識の理解、ファッション産業構造の把握と専門業務を把握する。

記載者氏名 澤住 倫子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH11	科名	バッグデザイン科1年	単位	2単位
科目コード	501310	科目名	バッグデザイン画I	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：玉川あかね

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

バッグの基本型から段階を追い、バッグの構造を理解しながら複雑なデザイン、形状まで描けるようになることを目標とする。また、マーカーによる材質表現テクニックを習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・立体と構造/立体の面の捉え方、マチ、手ひもの描き方	<1コマ>
ファスナー、バックル、ボタンなど副資材の描き方 *『革コン』コンテスト応募	<1コマ>
II・立体と陰影/立体と光と陰影の捉え方と彩色練習 (マーカー彩色と補助画材としての色鉛筆彩色)	<2コマ>
III・製品図の描き方/グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆の使い方	<2コマ>
IV・画材別彩色テクニック/マーカー水彩絵の具、パステル、の彩色練習	<3コマ>
V・創作デザイン/コンテスト応募作品 *台東ザッカデザイン *学内コンクール(工芸部門)	<4コマ>
VI・絵画からのデザイン発想・装飾凹凸の表現/カットワーク、パッチワーク、の描き方 絵の具の混色による色出しと彩色	<4コマ>
VII・造形練習/バッグ以外の物の形からバッグデザインに展開 ホワイト彩色によるハイライト効果、材質の違いによる光と陰影のコントラストのつけ方	<3コマ>
VIII・素材表現/型押し皮革、エキゾチックスキン(ワニ、ヘビ、オーストリッチ、シャークなど)	<2コマ>
VIII・マイコレクション/プレゼンテーションのための作品集制作	
① コンセプト、テーマ設定	
② イメージの具体化(素材、色、副資材アイテムなどの選出)	
③ デザインバリエーション展開	<6コマ>

【評価方法】 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする

S~C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系「ファッション工芸講座3 バッグ」
日本皮革産業連合会「鞆・ハンドバッグ・小物 標準用語集」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

デモンストレーションを伴う講義と、実技演習科目
文化服装学院アパレル技術科卒業、文化学院芸術科卒業

デンマーク研修留学『SAGA INTERNATIONAL DESIGN CENTRE』Young Designer Seminar(Fur Design)修了

記載者氏名 玉川あかね

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH11	科名	バッグデザイン科1年	単位	1 単位
科目コード	930010	科目名	校外研修 I	授業期間	前期 (集中)

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

校外での活動（観劇・美術館見学・博物館見学等）を通して、感性を磨き、表現力の向上を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●観劇

「歌舞伎」を観劇し、感想レポート提出。

●美術館・博物館見学

「ぐるっとパス」を利用し、対象施設の中から各自興味のある美術館・博物館を見学。
感想レポート提出。

【評価方法】

履修認定 (P表示) 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

校外での活動（観劇・美術館見学・博物館見学等）を通して、感性を磨き、表現力の向上を目指す。

記載者氏名 青木克江

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH11	科名	バッグデザイン科 1年	単 位	2 単位
科目コード	980010	科目名	特別講義 I	授業期間	通 年

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。
 専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。
 学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・コレクション情報 (ファッションの動向と最新コレクションの解説) ……………	講義	1コマ
・SNSトラブルと著作権について……………	講義	1コマ
・VMDについて (ファッショングッズ商品のプレゼンテーション方法) ……………	講義	2コマ
・流行色解説……………	講義	1コマ
・カメラワーク (作品集制作のための写真の撮り方の基礎) ……………	講義・実習	4コマ
・ファッション業界とは (ファッション業界の仕組みと業種、その仕事について) ……	講義	1コマ
・ファッショングッズデザイナーについて (学生時代にすべき事) ……………	講義	1コマ
・日本の生活文化 (風呂敷) について……………	講義・実習	1コマ
・ポートフォリオ制作 (就職活動に向けた作品集の作り方) ……………	講義・実習	3コマ
・お金について (時事解説を含めた経済の基礎知識) ……………	講義	2コマ
・服飾小物における事業展開 (小物雑貨のビジネス展開と今シーズンの商品傾向) ……	講義	1コマ
・学生生活について (人間関係、ストレス対処、カウンセリングについて) ……………	講義	1コマ
・皮革について (皮革の種類や革が出来上がるまで) ……………	講義	2コマ
・輸入皮革、レザーカービング……………	講義・実習	2コマ
・金具・ファスナーについて……………	講義	2コマ
・クロム鞣し革、エキゾチックレザーについて……………	講義	1コマ
・コラボレーション商品について……………	講義	1コマ
・バッグデザイナーの仕事について……………	講義	2コマ
・バッグ職人の仕事について……………	講義	1コマ

【評価方法】

履修認定 (P表示) 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。

記載者氏名 青木克江

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH11	科名	バッグデザイン科 1年	単位	1 単位
科目コード	945010	科目名	インターンシップ I (自由選択)	授業期間	通年 (自由選択)

担当教員(代表) : 青木 克江	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○研修先、期間

バッグ、靴業界の企業

1週間～2週間 (受け入れ先企業により異なる)

○研修内容

実務作業補助 (デザイン、製作、営業、生産管理など)

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する (出欠、研修報告)

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : バッグ業界の様々な職種の就業体験。

記載者氏名 青木 克江

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH11	科名 バッグデザイン科1年	単 位	1 単位
科目コード 904500	科目名 キャリア開発	授業期間	後期

担当教員(代表) : 杉本 直鴻	共同担当者 :
------------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる
--

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方 (企業の採用スケジュールとは、就職活動の進め方)	講義	1
2. 言葉遣い (正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話)	講義・実習	1
3. 電話のマナー・Eメールのマナー	講義・実習	1
4. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1
5. 自己分析①<学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析②<性格・長所>	講義・実習	1
7. 履歴書・エントリーシート①	講義・実習	1
8. 履歴書・エントリーシート②	講義・実習	1
9. 面接・個人 (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
10. 面接・集団 (コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
11. グループディスカッション①	講義・実習	1
12. グループディスカッション②	講義・実習	1
13. 作品プレゼンテーション	講義・実習	1
14. 内定から入社まで (内定の意味、誓約書、承諾書、労働法規の理解)	講義	1

<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠席、受講態度、実習 (面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度

主要教材図書 「就職対策 第2020年度版」
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>机上の知識だけでなく、将来について (今後の自分自身のキャリア) を実習・実践を交えて学ぶことができる。</p>

<p>記載者氏名 杉本 直鴻</p>
